

東京国公だより

【電話】 03-3501-6973

【FAX】 03-3500-4391

【Eメール】

office@tk-kokko.org

UR : <http://tk-kokko.org/>

東京国家公務員・独立行政法人労働組合共闘会議 09-5号 2019/11/1

11月7日は秋期全国中央統一行動 【主催】 国民春闘など

全国一律最賃 めざせそう！時給1500円
働けば誰でも正社員が当たり前前の雇用条件
働き方改革は8時間労働で生活できる賃金こそ

秋期年末闘争中央行動とし11月7日、「軍事費を削って暮らしに」、「安倍9条改憲NO」、「年末一時金を引上げ」等の課題を柱に、働く者の

要求を掲げて、終日行動が展開されます。東京国公は10月5日の定期大会でも闘争の柱として確認し合った長時間労働や非常

勤職員の処遇改善、最賃と初任給大幅引上げなど具体的要求を掲げて参加します。この日は霞が関地域中心の行動が配置されていますが、各単組は「旗を一本立てる」を目標に取組みましょう！

最賃と国公初任給を結合した運動は今から

東京国公はこの10年来、全国一般東京や全印総連東京、JMITU東京、千代田区労連の皆さんと官民共同行動実行委員会を立ち上げ、1年間通して共同して「春闘」を闘ってきました。とりわけ最賃問題と国家公務員の初任給を結合した闘いを重視し運動を

展開してきました。同時に国民の非正規労働者（国公労働者では非常勤労働者）の労働条件の大幅な改善を求め、霞が関での宣伝と人事院等の交渉を軸とした行動にも全力を尽くしてきました。

まず直ちに時給1000円の全国一律最賃の実現で国公労働者の初任給（高卒）を168000円に

私たちは時給1500円の全国一律最賃制度を要求しています。この要求は多くに働く者、特に若者に支持され運動も広がっています。その反映もあり、2019年の最賃改定では全国加重平均は874円から27円アップし9



厚労省 23時
霞が関の長期間残業をなくせ！の行動
11月18日（月）お昼休みに厚労省・
人事院前で宣伝行動、その後人事院要請



0903-0112257

01円に引き上げられました。

では国家公務員の初任給と最賃の関係はどうでしょう。

2019年の人事院勧告が実施されると、高卒初任給は148600円から2千円アップして、150600円になります。時給に換算すると885円から897円となります。(52週、2015時間の労働時間で計算) 国家公務員の単価計算基準) 最賃の全国加重平均が90

1円です。したがって地域手当を除くと国家公務員の高卒初任給・1級5号俸は最賃を下回るようになります。人事院には「最賃を下回る



ような給与体系を抜本的に改めよ！」の声を届けましょう！そして時給1000円の全国一律最賃を実現し、それを人事院勧告にも反映させましょう。時給1000円を国家公務員の初任給に当てはめれば月例給では168000円になります。

教員の変形労働時間制度 反対や消費税増税への抗議と引下げ要求、英語共通一次民間試験の全面見直しなどの要求も掲げて

11月7日の統一行動では、その他にも非正規労働者の処遇の改善や消費税増税への抗議・5%への引き下げ、社会保障制度の拡充、教員の変形労働時間制度導入反対、大学入学試験英語民間試験の導入全面見直し、「軍事費を削って暮らしに回せ」等々、様々な要求を掲げた行動が終日展開されます。1人1人の要求をしっかりと掲げ参加しましょう！

11月7日(木)の統一行動の主な内容

11:00~11:30 財務省前

○教育予算の充実、非正規職員の労働条件引上げに繋がる予算の確保、公務・公共サービスを拡充せよ

12:45~13:20 日比谷野音

全国一律最低賃金時給1500円の実現を！秋期年末闘争勝利、定年制引上げ・人勤掃除実施を求める決起集会

13:45~14:30 国会請願デモ

15:00~15:30 官邸前行動

河井法相辞任 大多数与党政権のおごり・弛み・緩みが招いた相次ぐ閣僚の辞任 第二次安倍政権が発足以来10人 小淵経産相から6年連続という異常 (下表江崎氏は病気による)

辞任の年月	辞任した閣僚名	辞任理由
2014年10月	小淵優子経産相	後援会の観劇費用の一部負担や選挙区内でワインを配布
2014年10月	松島みどり法相	選挙区内の盆踊りで自身の名前やイラストが入ったうちわを配布
2015年2月	西川公也農水相	自身が代表を務める政党支部が、国の補助金支給決定の企業から献金
2016年1月	甘利明経済再生相	口利きを依頼した建設会社から大臣室で金銭を授受した
2017年4月	今村雅弘復興相	東日本大震災について「まだ東北でよかった」などの相次ぐ暴言
2017年7月	稲田朋美防衛相	南スーダン国連平和維持活動(PKO)部隊の「日報：隠蔽
2018年2月	江崎鉄磨沖縄北方相	健康問題(一過性脳虚血発作)で辞任
2019年4月	桜田義孝五輪相	東日本大震災をめぐり復興以上に政治家が大事等の数々暴言
2019年10月	菅原一秀経産相	選挙区内で、秘書が支援者の通夜で香典を渡すなど金品の配布
2019年10月	河井克行法相	妻河井案理参議院議員の陣営の選挙違反疑惑

第一次安倍政権では2006年~2007年にかけて、自殺した松岡利勝農水相を含めて5閣僚が政治とカネの問題などで次々に辞任しました。安倍自公政権のおごり、弛みは「辞任大臣」に匹敵する暴言を吐いた大臣は他にもいます。「身の丈」発言の荻生田光一文科大臣、「雨男」発言の河野太郎防衛相です。